

令和 8 年 6 月 3 日

手足口病の流行（警報発令）について

1 概要

感染症発生動向調査事業に基づく手足口病の報告数が、第 22 週(5/25～5/31) に 1 医療機関当たり 6.31 人となり、警報開始基準値である 5.0 人を超えました。

県内で手足口病が流行しています。感染予防のため、こまめな手洗いや咳エチケットを心がけてください。

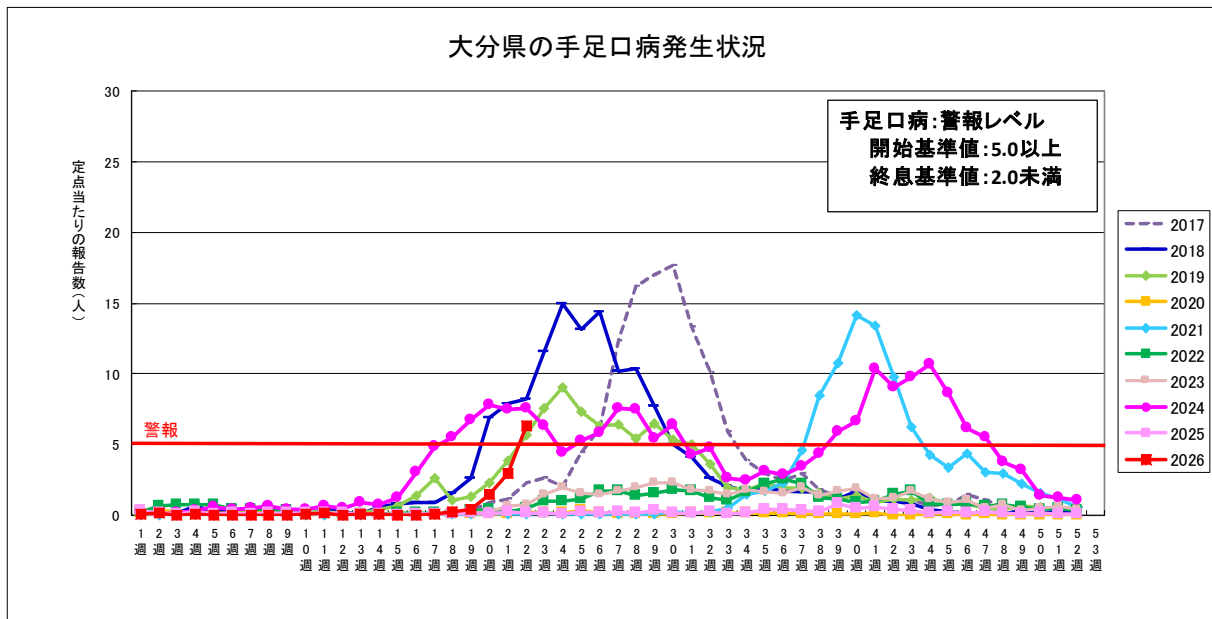
2 発生状況

大分県の手足口病発生状況

週別手足口病報告数(大分県、全国)			大分県(定点36カ所)		全国	
			患者数	定点当たり	患者数	定点当たり
2026年	11週	3/9 ~ 3/15	4	0.11	146	0.06
	12週	3/16 ~ 3/22	0	0.00	139	0.06
	13週	3/23 ~ 3/29	1	0.03	133	0.06
	14週	3/30 ~ 4/5	1	0.03	186	0.08
	15週	4/6 ~ 4/12	0	0.00	251	0.11
	16週	4/13 ~ 4/19	0	0.00	411	0.18
	17週	4/20 ~ 4/26	3	0.08	588	0.26
	18週	4/27 ~ 5/3	9	0.25	858	0.38
	19週	5/4 ~ 5/10	14	0.39	800	0.35
	20週	5/11 ~ 5/17	52	1.44	1,477	0.65
	21週	5/18 ~ 5/24	105	2.92	2,213	0.98
	22週	5/25 ~ 5/31	227	6.31		

大分県感染症発生動向調査事業 保健所別の状況		
22週	患者数	定点当たり
総数	227	6.31
東部	14	2.00
中部	3	1.00
南部	49	16.33
豊肥	0	0.00
西部	1	0.33
北部	54	9.00
大分市	106	9.64

大分県の手足口病発生状況



3 感染予防策等について

(1) 手足口病とは

口の中や、手足に水疱を伴う複数の発しんが出る感染症です。子どもを中心に、主に夏に流行します。感染症発生動向調査によると、2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。

(2) 症状

感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足の甲等に2～3mmの水疱を伴う複数の発しんが出ます。発熱は38度以下のことが多く、ほとんど場合は、3～7日のうちに治る病気です。

まれに、髄膜炎、脳炎といった中枢神経系の合併症のほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺等、重篤な合併症を伴うことがあります。

(3) 感染経路

飛まつ感染、接触感染、経口感染（便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染する）によって広がります。

なお、手足口病が治った後も比較的長い期間、便の中にウイルスが排泄されます。また、感染しても発病しないまま、ウイルスを排泄している場合もあることから注意が必要です。

特に、手足口病にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育所や幼稚園等では気をつけてください。

(4) 予防方法

液体石けんを使って手を洗い、タオルの共有は避けてください。また、排泄物は適切に処理してください。

保育所など乳幼児が集団生活を行う場所では、感染を広げないために、職員と子どもがしっかりと手洗いをする事、特に食事やおやつの前、おむつを交換した後は、流水と液体石けんで十分に手洗いをする事が大切です。

なお、手足口病に有効なワクチンや予防薬はありません。

【問合せ先】

大分県福祉保健部健康政策・感染症対策課
感染症対策班 手島、一ノ瀬
電話:097-506-2863、2665